



マンサクの花

2021年度最終となる3月定例会は、昆虫館の裏山から天の香久山の「万葉の森」へと抜けるコースで、暖かい日差しの中での観察会でした。

マンサクの花が咲き、ツクシにタンポポ、スミレの花が咲き、梅林の梅の花は満開でした。

いつもより三十分早い9時30分に昆虫館前に集合して始めました。今回は主に樹木の観察と次回の定例会の為にいろいろな苔がある万葉の森で苔の観察もしました。



急な登りでした



どングりの根と芽の観察

下の樹木は昆虫館の裏山に植えられていました。



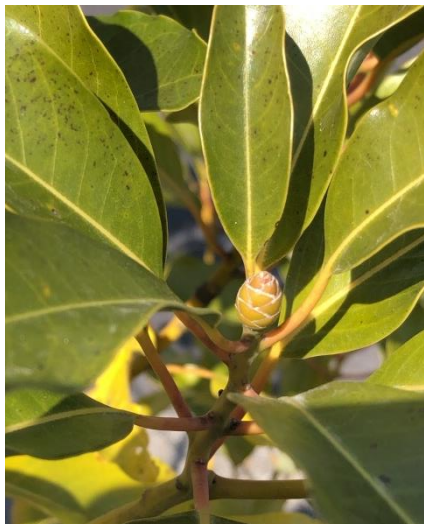
カラスザンショ

ミカン科落葉樹アゲハチョウ科の蝶の食草。
実はツグミ、キビタキ、メジロ、カラスなどが食べ、
種は被食散布される。



キハダ

ミカン科落葉樹。樹皮から健医薬
内樹皮は黄色で漢方薬。染料になる。
蝶(カラスアゲハ・ミヤマカラスアゲハ)
蜜源植物。



万葉の森へ行く道路にタブノキとクロガネモチの街路樹がありました。

タブノキはクスノキ科の常緑樹です。タブノキには大きな冬芽がついていました。この大きな冬芽の中には今年伸びる枝や葉・花芽が内蔵されているのです。^{こんめ}混芽といいます。花は4-5月に咲き1cm程の液果になります。食べることができます。葉は乾燥してタブ粉(線香)に、また黄八丈の染料になるそうです。木材は建築資材や家具の資材になります。

タブノキがこんなに人の暮らしに役立っていたとは、驚きでした。樹霊信仰の対象になっていたことが良く理解できます。

万葉の森(香久山周辺)の散策中観察できた樹木は、ツバキ・ウメ・サクラ・トウカエデ・タイワンフウ・ナツツバキ・アカメガシワ(古名ヒサギ)・タイサンボク・ユリノキ・マンサク・サンシュウ・クロマツなどでした。

散策中、苔も色々観察することができました。観察した苔のいくつかを載せます。



コツボゴケ



タマゴケ



ゼニゴケの仲間



ホソウリゴケ



ジンガサゴケ



スギゴケ



シノブゴケ



ハイゴケ

天気が良くて暖かい日でした。梅は満開だしツクシも見ることができたし春を感じることができた一日でした。以下の写真は観察できた春の植物の一部です。



オオイヌノフグリ



花の拡大



シロバナタンポポ



マンサク



マンサク花の拡大



ヤマネコノメソウ



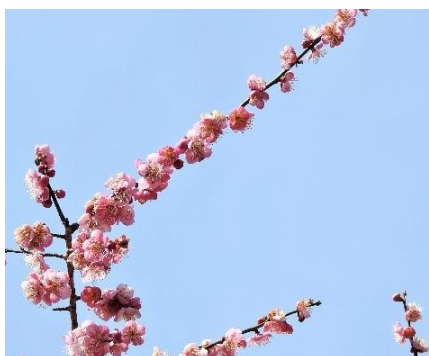
サンシュウ



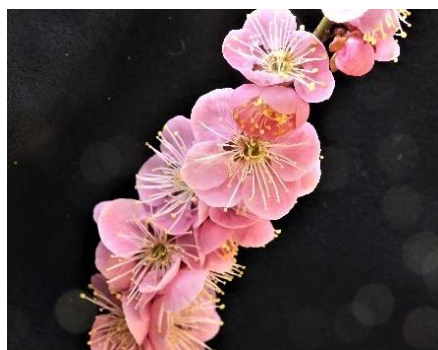
花の拡大



ナノハナ



ウメ



ウメの花の拡大



アセビ



ツクシ